

郵便便



東、平丸、由  
44 船調余由  
荒川以公 様

三 三 三 三 三  
三 三 三 三 三  
三 三 三 三 三

大正十年  
十月度 神戸岩崎界

○川は造船界

其の後解雇者多きやなり。従て小原工保つ、  
耳、それと東月村才江長昭おとのりて、  
問題為起るや、計りぬき。

不相変、但合撲滅方針をとり居る。指すは造船  
界の職工百数十名に、正進会を、但、造船  
年月元日曜日、沖ノ中外禪昌寺に集り、其  
式は、あつ、事、組合長其の他役員一切を  
不、雌依の、改、採、り、めし。

10.11.2  
Hoy  
新川

財團協 會